

元んしんぶんり



エリカ

今	細胞質封入体(移行上皮) ————— (1)	おしらせ(前立腺がん検診実施について) — (4)
回	検査情報(感染性胃腸炎について) ——— (2)	声 ————— (4)
の	検査Q & A(便ヒトHbについて) ——— (2)	メモ(施設内勉強会) ————— (4)
紙	センター紹介(検査材料の確認作業) ——— (3)	編集後記 ————— (4)
面	ひろば(携帯電話の豆知識-迷惑メール対策-) — (3)	中綴じ(-病態へのアプローチ-)

移行上皮細胞

transitional epithelial cell

移行上皮細胞は、腎盂・腎杯から内尿道口までを覆う粘膜上皮です。膀胱の移行上皮細胞は生理機能に応じて変化し、尿で満たされた状態では扁平に、空の収縮した状態では立方形にと“移行”することからこの名前があります。部位により上皮層の厚さは異なりますが、表層・中層・深層型細胞よりなる多列上皮で構成されています。

臨床的には、膀胱炎・腎盂腎炎などの炎症や尿管結石症、膀胱癌等の腫瘍、尿道カテーテル挿入や洗浄操作といった機械的損傷を受けた場合などに尿中に多く認められます。

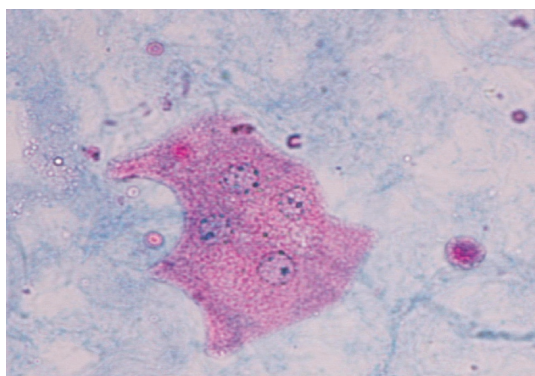
<形態的特徴>

・表層型細胞

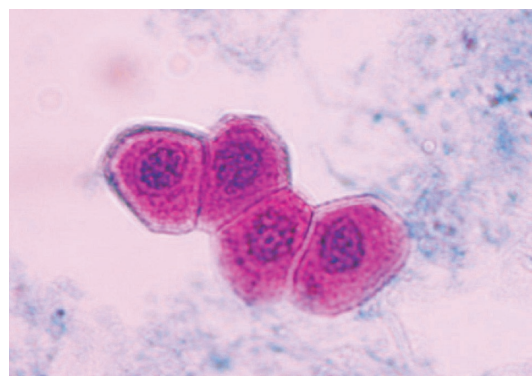
大きさ 60~150 μ m、細胞質辺縁は角張り、形は稜線状で多辺形を示すことが多いです。無染色における色調は黄色調を呈し、細胞質表面は顆粒状、核は円形または卵円形で、一般的に2核か3核を示しますが、時に10核以上の多核細胞も出現します。最表層にある細胞質の広い被蓋細胞(いわゆるumbrella cell)が出現することもあります。Sternheimer-malbin染色での染色性は良好で、赤紫色に染め出されます。

・中層~深層型細胞

大きさ 15~60 μ m、細胞質辺縁は角張り、形は紡錘形・洋梨形・小円形・多辺形など多彩な形態を示します。また、新鮮な細胞では有尾状を呈することがあります。細胞質の厚さは、表層細胞より厚いですが、扁平上皮細胞の中層~深層型細胞と比べると薄いです。細胞質表面構造や色調は表層細胞と同様です。



移行上皮細胞(表層型)



移行上皮細胞(中層~深層型)



検査情報

冬に多い食中毒（感染性胃腸炎）

インフルエンザと並んで冬に流行する疾患の代表的なものとして感染性胃腸炎が挙げられます。この疾患も爆発的な流行が見られることがあります。

感染性胃腸炎は主に、夏場のサルモネラ、腸炎ビブリオ、キャンピロバクター等の細菌が原因の食中毒がよく知られていますが、冬場にもロタウイルスやノロウイルス等のウイルスにより胃腸炎が起こります。

ロタウイルスは「乳児嘔吐下痢症」として知られており、冬の胃腸炎（特に乳幼児）の約50%をしめると言われています。米のとぎ汁様と言われる白色～淡黄色の水様便が特徴的で、1週間ぐらい症状が続きます。また、2歳までに大部分の人が感染して終生免疫を獲得すると言われていますが、大量のウイルス暴露や免疫力の低下により再感染する可能性もあります。

次によく見られるのがノロウイルスによるものです。このウイルスは人の腸管の中でしか増殖しません。そのため最終的に糞便中へ大量に排出されます。下水～河川～海へと流れ込んだウイルスは、カキやアサリ等の二枚貝が海水を取りこむことにより消化管に濃縮されると考えられています。代表的な原因食品にカキ等の二枚貝が挙げられるのはこのためです。（下水中には年間を通じてウイルスが存在しています。）



ノロウイルスは熱に弱いため、加熱処理をすることにより感染は予防できますが、湯通し程度の加熱では効果は無く充分に火を通す事が重要です。その反面低温には強く、少量（数個から100個程度）でも感染可能なため、「人→人」だけではなく「人→物（包丁・まな板）→人」等の感染経路も挙げられています。例としてカキ等を調理した包丁をそのまま野菜に使うことによりカキからではなく野菜からの感染も起こります。また、汚染された水で作った氷による感染例もあります。

一般的には先に述べたロタウイルスの症状よりは軽く1～2日で治りますが、まれに1日に十数回の激しい下痢を伴うこともありますので油断は禁物です。また、カキには「生食用」と「加熱用」とありますが、殺菌等の処理を行っているのが「生食用」です。しかし殺菌処理によりウイルスは完全に殺菌されているのではないので、風邪などで体調の優れない人や免疫力の低下している人は安全の為、加熱処理後食べるのが望まれます。

* 「加熱用」は殺菌処理していないため必ず加熱処理が必要です。

検査Q & A

Q：大腸癌検診用の採便容器についてお聞きします。採便後の保存は冷蔵庫で保存をしなければいけないのでしょうか？



A：糞便中の血液（ヘモグロビン）は、通常の温度に放置すると時間とともに分解・変性するため、検体を適切に扱わないと偽陰性の結果につながる可能性があります。冷蔵状態（4℃）でもこの変化は起こるのですが、室温より変性の程度は著しくありません。このことから一般的には添付のポリ袋などに入れて自宅の冷蔵庫で保存するのがよいとされていますが、冷蔵庫に入れることに対して抵抗を感じられる方が多いようです。このような場合例えば、発疱スチロールなどの断熱性の（氷の溶けない）箱に、氷や保冷剤を充分量入れて検体を保存してもかまいません。便秘等で2日分の採便に3日以上間隔が空きそうなときは1回目のみでも速やかに提出していただき、その後2日目が採れたとき再度提出してください。

検査1課 椎葉 満



センターご紹介

検査材料の確認作業

毎日、医療機関を担当者が訪問し検査伝票と検査材料の確認をしてお預かりしております。検査センターへ帰ってからは再度検査技師とマンツーマンにて伝票枚数、検体数そして患者名および貼付されたバーコードを更に確認をしています。この時に各担当者が医療機関からコメントがあったことも伝達を行います。この作業は医療機関と検査センターの接点として最も重要なものの一つとなっております。



ひろば

携帯電話の豆知識【迷惑メール：その2】

前回に続き、迷惑メール対策のお話をします。被害を受けないための基本は、「開かない」「クリックしない」「入力しない」ですが、迷惑メールも時と共に進化しています。

1. 勧誘・セールス広告

営利を目的とした内容で、出会い系サイトの勧誘や、薬・ソフト・ブランド商品販売などさまざまです。パソコンなどから送信専用のメールソフトを使い、ランダムな英数字の組み合わせで自動送信しています。

【対策】「登録してないメールアドレスからの受信を拒否する」などのフィルタリングである程度防ぐことができます。パソコンのソフトも同様の機能を備えています。

2. チェーンメール

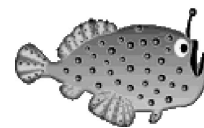
チェーンメールは不幸の手紙のメール版のようなもので、メッセージを他の複数の人に転送させるように不安感を煽る内容となっていることが多いようです。

【対策】チェーンメールは個人の送信が殆どで、おもしろ半分は友人や知人に送ることも多いようです。“たたり”などありませんので、指示を無視して削除しましょう。また、掲示板やひと目に触れる所にメールアドレスを書き込まないようにしましょう。

最近特に目立つのがフィッシングメールです。フィッシング詐欺とは、本物そっくりの偽メールや偽サイトを使ってユーザーをだまし、パスワードやクレジットカード番号、その他の個人情報などを盗み取るオンライン詐欺の一種です。

フィッシング詐欺に引っ掛かってしまう最大の理由は、本物と偽物の区別が難しいからです。これはフィッシング詐欺だけではなく詐欺行為すべてに共通しています。オレオレ詐欺（振り込め詐欺）は電話の相手が本人かどうかを判断することが難しいことから成立してしまいます。フィッシング詐欺の場合、メールやWebサイトの真贋を見分けることができれば騙されることはないのですが、自分の契約している銀行や証券会社の名前を騙られると、つい信用してしまう人が多いことが問題です。

今の時代、何でも疑ってかかることが被害に遭わない秘訣かもしれませんね？



電算課長 古川 資啓

お知らせ

前立腺がん検診実施について

平成19年2月にミニドックと併用して標記検診が次のとおり実施されます。

実施期間：平成19年2月1日～2月28日

対象者：福岡市に居住する55歳以上の男性で希望者

自己負担：1,000円（但し、一部免除者あり）

検体提出：福岡市医師会臨床検査センターへご提出下さい。

声



昭和58年7月開業以来、医師会検査センターを当院の検査室と思って利用しています。特に素晴らしい点は、この24年間全然トラブルがなかったことです。特に検査の精度は素晴らしく、自分の診断と検査成績がかけ離れたことはありません。更に臨床上問題になる異常値が測定された時には、センターからすぐに電話連絡があることです。すぐに患者様へ知らせることが出来、患者様から喜ばれることです。

また血液をしばらくの間保存されているので、チェックもれや、更に追加したい検査項目を電話一本で追加出来ることです。出来れば保存の期間をなるべく長くして下さい。

集配に来られる職員の方が本当に親切な方ばかりで、時間外でもすぐに取りに来てもらえて本当に感謝しています。

今後このような良いサービスをいつまでも続けてほしいと思っています。自分の施設の検査室のように、自由に気ままに利用出来る最高の検査センターと思っています。

小山田内科呼吸器科医院 院長 小山田 正孝

メモ

施設内勉強会 臨床検査技師・営業担当者向（参加要予約）

「KL-6について」 2月20日(火) 14:00 於)カンファレンス室

「症例検討」 2月22日(木) 16:00 於)カンファレンス室

会議

臨床検査センター運営会議 1月30日(火) 19:30 於)第一会議室

編集後記 今年は亥年ですが猪と言えまっすぐ突き進むことで知られています。今年もスタートから勢いよく頑張っていきたいと思います。

表紙のエリカについて・・・かつて、スコットランドの先住民ピクト人とキリスト教徒が戦った時に、ピクト人が敗れピクト人のビール職人の親子が捕まりました。ケネス王は、ヒースビールの作り方を教えれば命は助けるといって、教えることを強要しましたが二人とも口を開きません。そこで王は、父親の目の前で息子を殺して父親に口を割らせようとしたのですが、かえって憎しみを買い、とうとうその秘伝はわからずじまいになってしまったそうです。スコットランドでは、エリカの茂る荒野が多くあり、そのような荒野は「ヒース」と呼ばれ、詩や小説の舞台になっています。花言葉の「孤独」は、そんな吹きすさぶ荒野のイメージから生まれたのでしょうか。日本には大正時代に多くの種類が輸入されましたが、気候が合わないのか定着したのはジャノメエリカなどほんの数種だけでした。

原産地：ヨーロッパ、南アフリカ及び地中海沿岸 花言葉：博愛、孤独、裏切

開花時期：6月～7月、10月～11月、1月～3月 最盛期：12月～2月

花色：赤・ピンク、黄・オレンジ、白、緑など 花持ち：10日程度

編集委員 喜久正和 大塚英樹 諫山 修 椎葉 満 井原慎治 奥野隆子 右田道男



〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号

福岡市医師会臨床検査センター TEL(092-852-1506) FAX(092-852-1510)

<http://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html> E-mail: fma@city.fukuoka.med.or.jp